



### 臨時理事會開催

○三月十四日午後五時から丸の内日本俱樂部に於て理事會を開いた、出席者は水野會長を始め内田副會長、長岡隆一郎、中川正左、丹羽七郎、牧彦七、中川吉造、物部長穂の各理事及新に理事に就任された内務省土木局長湯澤三千雄氏の外幹事數名であつた。

四國に於ける道路改良講演會開催の件を附議し、地方長官と協議した上に於て行程を決定することに確定し、産業道路計畫に關し田中幹事より其の成立の由來、現在計畫の概要を説明し、次で之に對し本會の採るべき態度を決定し、中川理事より滿洲に於ける道路政策に關し提議され、各自

攻究の上本會の意見を樹立することに申合せ、長岡理事より國道改良費補助にして政府が未だ交付せざる補助金の整理に關し意見の提出あり、幹事に於て對案を作ることに決定した。

後小宴に移り會長は湯澤内務省土木局長に理事として盡力方を依頼され其の同意あつて午後八時散會した。

○三月二十六日午後二時より丸の内日本俱樂部に於て理事會を開いた。出席者は水野會長を始め内田副會長、山田英太郎、長岡隆一郎、中川正左、牧彦七、寛正太郎の各理事及新居、田中、都筑、小島幹事であつた。

田中幹事より前回の理事會に於て論議された、産業土木計畫に屬する道路改良事業に關しては、内務省に於て立案したる計畫を實現すべく内藏兩大臣に建議する件、國道改良補助費にして未交付補助金は産業道路計畫と相並んで完済するやう建議する件、滿洲新國家の道路政策に關し内拓兩大臣へ建議する件を説明し、字句一部を修正の上可決し、次で四國に於ける講演會の實行に關し協議して散會した。

因に可決された建議書は左の通にして直に關係大臣へ提出された。

建議書

政府ハ産業立國ノ國是ヲ定メ國運ノ進展民生ノ福祉ノ爲根本的政策ヲ樹テ國民經濟生活ニ最モ緊密ノ關係ヲ有スル道路ノ改良ヲ講セラルト聞ク是レ寔ニ機宜ニ適シタル施政ト言ハザルベカラス。

我國ノ道路ハ近時漸ク逐フテ改良セラル、ニ至リシト雖全國的ニ之ヲ見ルトキハ尙一局部ニ止マリ其ノ多クハ舊態依然トシテ線形構造共ニ劣惡ヲ極メ新式路上交通用具ノ機能ヲ擧ゲシムル能ハズ殖産興業爲ニ其ノ進展ヲ阻止セラル、ノ實情ニ在リ本會夙ニ之ヲ憂ヒ當局ニ建議シテ之ガ改良ヲ提唱スルコト多年然レトモ嘗ニ財政緊縮ノ爲ニ之ガ實現ノ遲ニ至ラザリシハ深く遺憾トスル所ナリ然ルニ今ヤ産業五年計劃ノ一端トシテ道路改良ノ實行ヲ見ムトスルハ寔ニ邦家ノ至慶ニシテ本會ノ満足之ニ過キササルナリ。

道路ノ改良タル之カ爲鉅額ノ費ヲ要スト雖之ニ因ル國民利福ノ増進ニ鑑ルトキハ其ノ支出ヲ吝ムベキニ非ラズ寧ろ進シテ積極的ニ事業ヲ起シ産業ヲ振興シ國富ヲ増進スルヲ喫緊ノ要務トス政府ハ此際大ニ道路ヲ改良シテ國運ノ進展ニ資スヘク格段ノ考慮ヲ拂ハレムコトヲ切望ニ堪ヘス茲ニ理事會ノ議決ヲ經建議候也

内務大臣 鈴木喜三郎殿

大藏大臣 高橋 是清殿

建議書

政府ハ産業振興ノ爲ニ新ニ道路改良事業ヲ計畫シ國民利福ノ増進ニ努ムト聞ク本會ハ其ノ實現ノ速ナラムコトヲ切望スルト同時ニ之カ爲ニ從來實行シ來レル道路政策ヲ等閑ニ付スヘキニ非ス兩者相竝ンテ之カ完成ヲ期スルヲ要ス。

大正八年原内閣時代ニ樹立セラレタル道路政策ハ我國路政上ニ劃期的ノ進展ヲ與ヘタリト雖爾後財政ノ關係上豫定計畫ヲ實行スル能ハス爲ニ國庫補助政策ノ下ニ地方カ執行シタル國道改良事業ニシテ既ニ其ノ工事ヲ完成セルニ拘ラス尙補助ヲ受クル能ハサルモノ九百五十萬圓ヲ算シ其ノ工事中ニ屬スルモノニシテ將來補助ヲ受クヘキモノ三千萬圓ノ多キニ及フト聞ク。

固ヨリ是等補助費ノ措置ニ關シテハ新計畫ニ於テ相當考慮セラレタル所ナルベシト雖地方財政ノ現状ヲ見ルニ豫定補助金ノ交付ヲ受クル能ハサルカ爲地方團體ニ於テハ公債償還ノ財源ヲ失ヒ爲ニ財政ノ窮迫ヲ招來セルモノアルカ如キ寔ニ憂慮ニ堪ヘサルモノアリ、仍テ政府ハ此ノ際既成事業ニ對スル補助金ヲ完済シ其ノ工事中ニアルモノハ事業ノ進捗ニ應ジテ補助金ヲ交付シ以テ窮乏

道路改良會長 水野鍊太郎

ル地方財政ヲ救済スルト同時ニ道路ノ改良ヲ助成セザレムコトヲ  
切望ニ堪ヘス茲ニ理事會ノ議決ヲ經建議候也

道路改良會長 水野鍊太郎

内務大臣 鈴木喜三郎殿

大藏大臣 高橋 是清殿

### 建 議 書

今回新ニ滿洲國ノ成立ヲ見平和的樂土ノ建設成ラムトスルハ東  
洋平和ノ爲寔ニ欣慶トスル所ナリ、新國家ハ尙未タ國際間ノ承認  
ヲ得ルニ至ラスト雖彼地ニ於ケル帝國既存ノ權益ハ帝國國運ノ隆  
替ニ影響スルトコロ頗ル多ク從テ我國ハ滿洲國家ノ成立ト其ノ發  
達トヲ助成スルノ權義ヲ有スルモノト言ハサルヘカラス

滿洲發展ノ爲ニ採ルヘキ政策ハ多々アルヘシト雖 荒茫タル曠野  
ノ開發ハ一ニ陸上交通機關ノ整備ニ俟タサルヘカラス 曩ニ國際鐵  
道聯絡ニ關シ當局官吏ノ派遣ヲ見タルモノ亦故ナキニ非ス然レト  
モ鐵道ノ機能ノミヲ以テシテハ開發ノ完成ハ之ヲ望ミ得ヘキニ非  
ラサルヲ以テ之ニ配スルニ道路網ノ計畫ヲ必要トス仍テ政府ハ道  
路行政ト技術トニ精通セル權威者ヲ派遣シテ計畫ノ大綱ヲ調査シ  
以テ新國家ノ政策ヲ援助スルノ必要アリト認ム 右理事會ノ議決ヲ  
經建議候也

道路改良會長 水野鍊太郎

内務大臣 鈴木喜三郎殿  
拓務大臣 秦 豐助殿

### ○内務省土木出張所長會議

内務省では昭和七年度事業執行竝に同經費豫算等を協議  
せしむる爲め、去る三月二十六日午前十時より土木出張所  
長會議を開いた、産業土木計畫に依る七年度所屬工事は、  
追加豫算の成否未定であるが爲めに、大藏省が同意した四  
五兩月分に屬する豫算即ち失業救済道路改良費五百五十萬  
圓の經理に關し、其の施工箇所の採擇工事執行方法に付協  
議し散會した。

因に同會議に於ては治水港灣等の追加豫算不成立の場合  
に於ける官吏々員の整理問題に付協議したが、萬一右豫算  
が成立しないとすれば、行政整理の恩典に浴することなく  
して多數の吏員を減首せなければならず、減首するだけに  
しても大きな社會問題であるのに尙退職賜金を支給せざる  
ものとすれば一層問題を混亂に陥れ、又々一騷動が起るの  
ではないかと懸念されてゐる。